

令和8年度「小論文（医学部看護学科）」

**【出題概要】**

課題文は、「人に頼る」スキルは、社会人にとって最も必要な能力の1つであり、人に助けてもらう経験が、自分の謙虚さを培うことになること、そして頼り合うことがお互いの成長につながることについて述べられているものである。資料は、ベネッセ教育総合研究所「第4回大学生の学習・生活実態調査報告書データ集 2021」に掲載されている資料で、大学内の友人関係を調査した結果を示している。

**問1【出題意図】**

文章の読解力と限られた文字数で筆者の考えを説明する能力をはかる。

**問2【出題意図】**

文章の読解力と限られた文字数で筆者が述べている内容を説明する能力をはかる。

**問3【出題意図】**

文章の読解力と限られた文字数で筆者が述べている内容を説明する能力をはかる。

**問4【出題意図】**

資料が示している結果を正確、かつ的確に把握する力をはかる。

**問5【出題意図】**

課題文と資料の内容を理解し、それらを基に自分の考えを論理的に記述する論理構成力を含めた文章表現力をはかる。

**[出典]**

・課題文

吉田穂波著『頼るスキル 頼られるスキル 受援力を発揮する「考え方」と「伝え方』』  
角川新書（2024）から一部改変して作成

・資料

ベネッセ教育総合研究所「第4回大学生の学習・生活実態調査報告書データ集 2021」

[https://benesse.jp/berd/koutou/research/detail\\_5772.html](https://benesse.jp/berd/koutou/research/detail_5772.html)

から一部改変して作成

## 【解答例】

問1 下線部ア) 人に頼ることができる強い人とはどのような人か、筆者の考えを110字以内で記述しなさい。

自分が助けてもらった経験を通して、自分に限界があることを知ると同時に、誰にでも限界というものがあることが理解できる人であり、「困ったことがあったら気持ちよく頼る」「相手に迷惑をかけていると捉えない」ことができる人。(107字)

問2 下線部イ) 「頼り合い」について筆者はどのように述べているのか、90字以内で説明しなさい。

一方的に「助けを求め」だけでなく、力になってもらった後、相手に感謝する、喜ぶ、など、ものでは代わりにならない心という大きな価値を相手に与えることでWIN-WINの関係となること。(84字)

問3 下線部ウ) 「成人学習」について筆者はどのように述べているのか、120字以内で説明しなさい。

「正解がない課題」に対して、「正解がない」と途方に暮れるのではなく、「正解が幾通りもある」と考え、「自分の今の状況にとっての最適解を選ぶ」ために複数の解決法を学び、状況に合わせてそれらを出し入れできるような力を身につけること。(113字)

問4 資料の図1「大学内の友人関係」から読み取れることを200字以内で記述しなさい。

①大学内の友人が「1人以上いる」と回答した割合が最も多い項目は、話をしたり一緒に遊んだりする友だちが88.8%と最も多く、次いで、情報交換する友だちが82.3%であった。

大学内の友人が「いない」と回答した割合が最も多い項目は、学習やスポーツで競い合う友だちで49.4%、次いで学習や広く社会の課題などについて議論をする友だちが31.1%であった。(173字)

②大学の友人で「いない」あるいは「1人」と回答した割合が多い項目は、学習やスポーツで競い合う友だちが59.3%と多く、次いで、学習や広く社会の課題などについて議論をすることが44.4%であった。大学の友人で2人以上の複数の友人がいると回答した割合が最も多い項目は、話をしたり一緒に遊んだりする友だちが77.3%と最も多く、次いで情報交換する友だちが70.0%であった。(180字)

問5 課題文と資料をふまえて、看護職を目指すあなたは、大学入学後、仲間とどのように学び合うことが重要だと考えるのか、500字から560字で記述しなさい。

課題文から、人に助けを求めたり、人に助けてもらう経験は、自分も人助けをしたいと思い、同じように困っている人の存在に気づきやすくなることや、頼り合うことがお互いを成長させ、WIN-WINの関係を作ることがわかった。図からは、約半数の大学生が学習やスポーツで競い合う友だちを持っていないことや2割の学生が悩みを相談できる友達を持っていないことがわかった。

私には、困ったときに相談できる仲間がいるが、相談するのは勉強のことや部活動のことくらいで、その他は相談したくてもできない。自分の悩みを話し、その人の時間を取ることで迷惑になるかもしれないと思うからである。しかし、この課題文を読んで、人を「頼る」ためには、まずその人を信頼し、頼り、助けてもらった時には、次はその人の助けになろうという気持ちで関わり合う事が大切で、「迷惑かもしれない」と考えなくても良いと思った。

私は大学生になったら、信頼し合え、議論し、時には競い合う仲間をつくり、仲間と「どんな看護職になりたいのか」という目標を語り合い、影響し合える関係を築いていきたい。そのためには、あまり遠慮せず、困ったことが起きたら仲間に話を聞いてもらい、仲間の相談にも積極的に乗る姿勢をもって、少しでも前に進める方法を一緒に考え合えるような大学生活を送ることが重要と考える。(559字)